



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和5年11月号(第8号)
令和5年11月1日発行

【学校教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心もち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

喜んで登校 満足して下校

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かかわりあいを大切にする子

実りの秋

校長 三島 公夫

芸術の秋、校舎のいたるところに子どもたちの作品が展示されています。絵画や習字、観察カードや教科の学びをまとめた新聞など、どれを見ても子どもたちの想いが伝わってきます。その想いを想像しながら作品に見入っていると、つい時間が経つのを忘れてしまいます。

さて、先月、棋士の藤井聡太竜王・名人が八冠を達成しました。この対局では、藤井さんが前人未踏の八冠を達成したことが大きなニュースとなりましたが、私は、AIが各局面において勝利の可能性を評価していたことにも目を奪われました。対局は藤井八冠が138手で永瀬拓矢九段に勝利したのですが、終盤でのAIは、永瀬九段が99対1の確率で勝利すると分析していました。専門家の話によれば、この数字は100%永瀬九段の勝利を意味していたそうです。しかし、実際には123手で永瀬九段が“運命の一手”を指すことにより形勢は一転、藤井八冠の勝利となりました。

この大逆転劇に新聞の号外が発行されるなど、その日の報道は将棋の王座戦の話題で持ちきりでした。「信じられない大逆転を引き起こすのが、AIにはない藤井八冠のすごさ」というコメントや、「藤井八冠『AI超え』の一手」などのタイトルで新聞紙上も賑わいました。

AIについては、文部科学省が学校で使う際の留意点をまとめたガイドラインを公表しています。それによると、「AIを使いこなすための力を意識的に育てることは重要」としたうえで、AIにすべてを委ねるのではなく、自分の判断や考えが重要であることを子どもたちに理解させることが必要だと強調しています。藤井さんと永瀬さんの対局を見て、この一文が意味することを真に理解しました。つまり、AIが示すのは過去のデータの蓄積から分析される、その時点での傾向(確率)にすぎず、今起きているケースがその傾向(確率)通りになる保証はないということ、AIが何通りも示す候補の中から最適解を選ぶのは自分であるということなのです。

ここで、子どもの力を見取る際の留意点について考えたいと思います。私は三つあると思います。一つ目は子どもたちの学力・運動能力などの現在の力。二つ目は、今に至る背景。そして、三つ目は“その子の持ち味”です。一つ目と二つ目の分析についてはAIこそが得意とするところでしょう。しかし、三つ目については、子どもの成長を見守る大人(人間)にしかできないことだと思うのです。文科省のガイドラインにある「判断や考え」は、これに相当するのかもしれませんが。確率80%とは100回のうち80回が当たるというものですが、普通、当事者が直面する事態は1回しかありません。その1回を最善なものにするには、AIが何通りも示す候補やデータをうまく使って、最後に“その子の持ち味”を考えてあげることが大切なのではないでしょうか。そして、このことが“その子の思い描く幸せ”を実現するきっかけになるのだとも思います。

冒頭で紹介した子どもたちの作品をもう一度よく見てみると、“その子の持ち味”がたくさん秘められていることに気が付きました。子どもたちの実りをたくさん見つけられる秋です。

11月の行事予定



冬期の登下校時の服装について

安全に登下校できるようにするために、冬期の登下校時の服装につきまして、以下の点について確認をお願いいたします。

- ① 両手が使えるよう、手袋の着用を推奨しております。
- ② ニット帽や耳あての使用は可能ですが、音を聞き取りやすく、周りが見えるようにするために、フードは被らないください。
- ③ マフラーなどの防寒具は周囲に引っかからないように使用してください。

ときわっ子まつりについて

11月11日(土)の土曜授業日に合わせて、ときわっ子まつりを開催します。

児童が安全に活動するために、保護者への公開は卒業を控えた6年生児童の保護者のみとさせていただきます。

詳細につきましては、10月4日に配付した文書でご確認ください。

※外壁改修工事のため、徒歩での来校をお願いします。

研究発表会の下校時刻について

11月22日(水)に、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、研究発表会を行います。

当日、授業を公開する学級は、2年2組と4年3組です。第5校時が授業公開のため、2年2組と4年3組の下校時刻は、14時45分頃に変更となります。よろしく願いいたします。

授業公開のない学級については、下校時刻の変更はありません。通常3時間授業(給食あり)12時50分頃下校となります。

なお、帰宅後に学校で遊ぶことはできません。忘れ物を取りに来るなど、来校もお控えください。

～お知らせ～

10月に、佐藤 瑞貴 教諭が入籍しました。

おめでとうございます。



日	曜	朝会等	行事
1	水	ヨムヨムタイム	開校記念日 個人面談(希望)④ ベルマーク回収 1年埼玉県立美術館見学 委員会活動
2	木	児童朝会	G・Sタイム 資源回収日
3	金		㊟文化の日
4	土		土曜チャレンジスクールA
5	日		浦和区民まつり(金管バンド参加)
6	月	G・Sタイム	縦割り活動 月曜チャレンジスクールB
7	火	ヨムヨムタイム	5年校外学習 個人面談(希望)⑤ 火曜チャレンジスクールA
8	水	G・Sタイム	5年小中合同音楽会 代表委員会 クラブ活動 個人面談(希望)⑥
9	木	学級の時間	歯科健診(1,3,6年、あおぞら) G・Sタイム 木曜チャレンジスクールA
10	金	お話朝会	個人面談(希望)⑦ 安全点検日
11	土		短縮3時間授業11:30頃下校 ときわっ子まつり
12	日		
13	月		振替休業日
14	火		県民の日 学校閉庁日
15	水	のびのびタイム	避難訓練 クラブ活動
16	木		短縮3時間授業(給食あり)12:10頃下校
17	金	G・Sタイム	第2回学校運営協議会
18	土		土曜チャレンジスクールB
19	日		
20	月	G・Sタイム	月曜チャレンジスクールC
21	火	学級の時間	火曜チャレンジスクールB
22	水	ヨムヨムタイム	研究発表会 3時間授業(給食あり)12:50頃下校 ※授業を公開する2-2、4-3は14:45頃下校
23	木		㊟勤労感謝の日
24	金	G・Sタイム	
25	土		
26	日		
27	月	G・Sタイム	保育者小学校等体験研修(~28日) 月曜チャレンジスクールA
28	火	学級の時間	
29	水	のびのびタイム	クラブ活動 教育相談日
30	木	学級の時間	G・Sタイム 木曜チャレンジスクールB

<12月の主な行事予定>
 1日 全学年4時間授業(給食あり)13:40頃下校
 4日 浦和レッズハートフルクリニック(6年)
 5日 参観・懇談(4,5,6年)5時間授業14:45頃下校 PTA成人教育委員会講演会
 6日 参観・懇談(1,2,3年、あおぞら) SSN連絡協議会
 8日 校内ミニサッカー交流会(6年) 11日 地元シェフによる学校給食
 18日、19日 5時間授業14:45頃下校
 20日 給食最終日 4時間授業13:40頃下校 21日 短縮3時間授業11:30頃下校
 22日 2学期終業式 短縮3時間授業11:30頃下校 23日~冬季休業日(~1/8)

人権の花運動 10月4日(水)

栽培委員会の児童が「人権の花運動」に取り組みました。さいたま市の小学校では、花を育てることを通じて、お互いが協力し合い、相手の立場を考え、生命の尊さを学びながら豊かな心を育み、やさしさと思いやりの心を涵養することを目的として取り組んでいます。



学校給食試食会 10月5日(木)・6日(金)

学校給食試食会を4年ぶりに開催しました。

今回は、1年生の保護者だけでなく、新型コロナウイルス感染症の流行により開催を中止していた期間の2～4年生保護者を対象とした試食会も実施しました。多くの保護者の皆様に参加いただきありがとうございました。



6年 修学旅行 10月5日(木)～6日(金)

「一致団結し 日光の歴史や自然とふれあい 全力で楽しもう」をスローガンに、日光方面へ修学旅行に行きました。1日目は華厳の滝の見学、戦場ヶ原のハイキング等、2日目は竜頭の滝や日光東照宮の見学を行いました。雨や強風の影響で、やむなく中止とした活動もありましたが、友達とゆっくり語り合う時間も増えるなど、児童にとって実りの多い宿泊学習となりました。



4年 校外学習 10月11日(水)

利根大堰と武州中島紺屋に行ってきました。水や川に対する埼玉県の取組を学習したり、埼玉県の伝統工芸品を見たり、体験したりしました。

武州中島紺屋では、藍染体験を行いました。児童は、各々素敵なオリジナル作品を作りました。

5年 未来くる先生 10月6日(金)

さいたま市消防音楽隊の皆様をお迎えして実施しました。演奏だけでなく、火災予防や消防士の仕事などについての講話もいただきました。



3年 消防署見学 10月12日(木)

浦和消防署へ、見学に行きました。消防署見学を通して、消防署にある施設やそこで働く人の様子、火事を素早く消したり、防いだりするためのしくみを学習しました。



ときわっ子コンサート

10月20日(金)、21日(土)

たくさんの保護者の方々に参観いただき、盛大に開催することができました。児童は緊張しながらも、これまでの練習の成果を十分に発揮することができました。たくさん称賛の拍手をいただき、ありがとうございました。



6年 アート・イン・スクール

さいたま市では、様々な分野で活躍するアーティストを学校へ派遣し、児童が本物の文化芸術に触れながら学習する取組を実施しています。

10月16日から、造形作家 玉田 多紀(ただ たき)氏から指導をいただき、ダンボールを使用した作品作りに取り組んでいます。12月に完成予定です。どんな作品が生まれるのか、今から楽しみです。



5年 金融経済教育

9月末から、さいたま市教委と連携協定を結んでいる三菱UFJモルガンスタンレー証券の社員の方に参加いただき、「お金を大切に使うとはどういうことか？」について考えました。

カードを用いた対話やグループワークを通して、ものや活動の値段や価値について考えながら、お金との前向きな関係性について学習しました。



11月6日～10日は、「心を潤す4つの言葉」推進週間です

本校では11月6日(月)～10日(金)を「心を潤す4つの言葉」推進週間としています。「はい」「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」等の言葉を児童が主体的に使い、よりよい生活を送ることができるようにすることをねらいとして、ポスターの掲示や、登下校時等に地域の方々の目を見て挨拶するなどの取組を行います。

今年度は、令和5年度「さいたま市子ども会議」で策定された『心を元気にする4つの言葉』も併せて啓発活動を行います。

